

10/25 コスモス鮮やかに「宇仁郷まちづくり」



▲満開のコスモスを満喫する参加者。

宇仁郷まちづくり協議会主催の「コスモスマつり」が行われ、参加した約 450 人が宇仁の朝市（新鮮野菜、花の販売）やウォーキングなどを楽しみました。

また、同協議会が管理する「宇仁郷歴史資料館」が、宇仁小学校体育館北隣に開館しました。パネルなどで宇仁地域の歴史を解説。開館日時は、毎月第 1・3 日曜日の午前 9 時 30 分から正午まで（☎45 0017）。

10/25 かつての宿場町の賑わい再び



▲ハロウィンパレードで盛り上がる参加者。

江戸時代に宿場町として栄えた北条町北条地区で 10 月 24・25 日の 2 日間、「第 8 回北条の宿はくらんかい」が開催され、市内外から約 2 万 5 千人が訪れました。

地域団体の飲食店や手作り作品の販売など約 70 店が通りに並び、多くの人で賑わいました。また、子どもたちがカボチャのお面をかぶるなど、仮装して旧街道沿いを歩き回る「ハロウィンパレード」もありました。

10/31 北条中学校・創立50周年



▲「伝統を受け継いでいってほしい」と高井寿郎実行委員長。

北条中学校で「創立 50 周年記念式典」が行われました。北条中学校は、昭和 40 年 4 月 1 日に、北条・富田の 2 中学校を統合し創立。50 年で 10,934 人が卒業しました。

また、記念講演では、同校を卒業した三枝大地さん（全日本バレーボールユース女子監督）が、生徒に夢を持つことの大切さを伝えました。

11/2 西在田小の児童5人が人命救助



▲加西警察署長表彰と兵庫県「のじぎく賞」を受けた児童。

西在田小学校の児童 5 人（写真左から、高井翔瑛くん、熊谷瑠輝くん、小池陵生くん、池田七彩さん、小池恋実さん）が 10 月 26 日の下校中、田んぼに落ちて動けなくなった高齢者を見つけました。その後、近くを車で通りかかった人に 119 番通報していただき、無事一命をとりとめました。5 人は加西警察署長表彰と兵庫県「のじぎく賞」を受けました。

ふるさと加西は風土記1300年

事業の取り組み等を紹介

かさい観光NAVI

遊ぶ・見る・食べるなどの観光情報が満載

子育て、定住支援情報

子育て・定住支援情報サイト

かさい子育て NAVI

子育てイベントや子育ての悩みを解決

11/3 大正時代のサッカー交流を再現



▲ボールを追いながら交流を深める参加者。

第1次世界大戦中、ドイツとオーストリア＝ハンガリー兵の俘虜を収容した「青野原俘虜収容所」が、1915年（大正4年）に青野原町に開設されました（1920年閉鎖）。開設100年を記念して、多目的グラウンドで、当時の俘虜と姫路師範学校（現神戸大学）とのサッカーでの交流試合を、市内在住の外国人や神戸大学の学生ら75人が再現しました。

11/5 播磨農高生が園児に食育体験



▲パンにブドウジャムを搾る生徒と園児。

食育体験学習として加西市の食を知ってもらおうと、播磨農業高校の3年生18人が、愛の光幼稚園で園児42人とブドウジャムパンを作りました。園児と一緒に米粉パンに豆乳クリームと同校のゴールデンベリーAで製造したブドウジャムを挟み完成。試食した園児は「甘くてとってもおいしい」と笑顔でした。

11/7 ふるさとへの愛着を深める



▲来年の再会を約束して記念撮影。

東京を中心に、関東在住の加西市出身の方やゆかりのある方が集う「東京加西会」が、KKRホテル東京で開催されました。郷土の発展に寄与することを目的に、今回で27回目の開催です。

同会の竹本進一会長が「故郷に思いを寄せて、語り合いましょう」とあいさつ。会員など38人が1年ぶりの再会を喜び、ふるさと談議に花を咲かせました。

11/12 人形劇「mamaねひめ」が活動10年



▲富合小学校で人形劇を披露したメンバー。

ほくぶキッズ(子育て学習センター)の人形劇グループ「mamaねひめ」が、活動10年目を迎えました。現在11人のメンバーで、子どもたちに笑顔で楽しむてもらおうと、年間40回程度活動されています。

この日は、富合小学校で、1～3年生73人に、健康のためには好き嫌いせず何でも食べることや歯磨きの大切さなどを、楽しい人形劇を通じて伝えました。

加西市のことなら

ホームページがより見やすくなりました。スマートフォンにも対応

加西市ホームページ

加西市

検索

テレビで緊急情報「まちなび」



サンテレビのデータ放送で緊急情報などを発信

災害に備えて「かさい防災ネット」



災害時に避難勧告などの防災情報をメールで自動配信

